







ら離れたが、定年退職

作 切り絵 村杉創夢

るから海はいつも塩辛いのである。 海にあると言われているが、それを見た者 に塩が流れ出なくなっていたようである。 ばさを作っている岩で、崖崩れのため、 「から「塩岩(しおいわ)」は、あちこちの 塩岩(しおいわ)」といって、 どうやら、これは、うわさに聞いていた、 為吉は、塩岩のことは、まったく知らな 、海の しょつ

砕く。小さくなった石でも重い石は、運ん かったが、潮吹き穴から水を吹き出さなく でいくとき、肩に食い込んで辛かった。 うと思ったことだろう。大きな石を砕くの てみたのだ。それにしても、この三年間 持ちで、崩れ落ちた岩や砂や土を取り除い という話を聞いて、もしかしたらと言う気 に何日もかかった。その砕いた石をさらに なってから、だんだん塩辛さがなくなった て、洞窟を掘り出したのだ。何度、やめよ の凸凹な岩の上を歩くのもつらかった。 長かった。見えない力にひきつけられ 海



ている気がしていた。 前にしかできないことだと、背中を押され だけど、 やめることは出来なかった。 お

たのだ。魚だけでなく、貝もとれるし、エだろう、いなくなっていた魚が、戻ってき ビやタコやイカまでとれるようになってき そして、 海が塩辛くなると、するとどう

で売ることができたのだ。やはり塩が少な たくさんの魚を釣りあげることが出来た 魚も貝もみんな、戻ってきたのだ。 くなってしまったので、海から魚や貝が なくなってしまったのだ。塩辛くなると、 し、砂浜を掘って貝をあつめたりして、 他の漁師たちも、 漁師の為吉は、毎日、漁に出た。そして、 魚がとれるようになっ 町

て、喜んでいた。魚がとれるというので、 は以前の元気さを取り戻し始めた。

開催。自宅に「村杉きりえギャラリー」を開設 始め、歳時記や風景を題材に通算40回の個展を ▽村杉創夢= オリジナルの物語に切り絵を組み合わせた * 30歳ごろから趣味の切り絵を * *

71 歳

東





